





周南小学校 校長 今西 孝洋

着任式に、ダジャレで「校長先生は、ゼッコウチョウで頑張ります！」と自己紹介をしました。

その後、朝の登校時には、「校長先生、今日はどうぞですか」「絶対調ですか」「僕も絶対調です」などと、一言会話を交わして子どもたちは登校していきます。絶対調とは、「体の調子

や技の具合が非常によいこと」です。体の調子がよいと、毎日が楽しく過ごせます。時には辛いことや悲しいこともありませんが、絶対調だと、乗り越えられる気がします。

今年度、小学校のテーマは、「笑顔あふれる周南っ子」です。毎日が楽しく、絶対調で過ごせるよう、教職員一丸となって頑張ります。

保護者、地域の方々とも引き続き連携し、周南っ子を育ててまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



新年度が始まって2ヶ月が過ぎました。このコーナーでは、「周南の新しい顔」として、周南地区の団体・機関から4名の皆さんをご紹介します。



社会福祉法人草花会【たびだちの村・BISHA】施設長 武田 幸喜

この度、たびだちの村・BISHAの施設長に就任した武田幸喜と申します。

これまで、生活支援員として施設内のソフトボール部の顧問としており、毎年行われる周南ソフトボール大会への参加を楽しみにしておりました。コロナ禍以降、ソフト部は休部中で、参加復帰の目はたっていないが、また地域の方々との交流を持てる日を楽しみにしております。

私は就労継続支援B型の事業所の施設長も兼任して



周南公民館 館長 飯泉 みゆき

4月から館長に就任しました飯泉です。生まれも育ちも市内で、現在も小櫃地区から通っています。

私が社会教育の専門職として最初に勤めた場所がこの周南公民館です。たくさんの方との出会いや思い出があり、今の自分に繋がっています。この公民館と周南地区は、自分にとって仕事の原点ともいえる大切な場所です。そのような館で館長を務めさせて頂くことに、ご縁と大きな責任を感じています。

さて、この3月に君津地区公民館運営審議会から、「地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について」の答申を頂きました。その中で、より丁寧な地域に寄り添った事業を展開し、公民館本来の機能と特性を発揮してほしいとの意見を頂きました。様々な課題がある中、公民館ができることを皆さんと一緒に積極的に探りつつ、事業に取り組んでいきたいと思っております。

さて、この3月に君津地区公民館運営審議会から、「地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について」の答申を頂きました。その中で、より丁寧な地域に寄り添った事業を展開し、公民館本来の機能と特性を発揮してほしいとの意見を頂きました。様々な課題がある中、公民館ができることを皆さんと一緒に積極的に探りつつ、事業に取り組んでいきたいと思っております。

さて、この3月に君津地区公民館運営審議会から、「地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について」の答申を頂きました。その中で、より丁寧な地域に寄り添った事業を展開し、公民館本来の機能と特性を発揮してほしいとの意見を頂きました。様々な課題がある中、公民館ができることを皆さんと一緒に積極的に探りつつ、事業に取り組んでいきたいと思っております。



周南中学校 教頭 松岡 実

令和6年度末定期人事異動にてこの4月から周南中学校に着任しました。教頭の松岡実と申します。

地域の皆さま方がとても積極的に小学校・中学校の子どもたちを応援してくだ

**戦後80年・昭和100年をこ長寿に聞く**

八咫皇太后

岩崎菊江さん (宮下)

大正6(1917)年 7月31日(107歳)

君津市小香生まれ

今年終戦から80年・昭和になって100年の節目の年です。周南地区にお住まいのご長寿の方に子どもの頃の話、青年団の活動、昔の暮らしなどいろいろと伺ってみました。

### みんなで楽しむ！ 第22期 周南地区青少年相談員



後列左から、黒野 溝口(副会長) 能城 林下 栗原 荒井 前列左から、田淵(公民館) 齊藤(副会長) 和田(会長) 松田

関東大震災・子どもの頃の話 6才の時大きな地震がきて、家は無事だったけれど、しばらく外の唐椎の木(マテバシイ。風よけや海苔ヒビ、実を食用にするなどの目的で家の周りに植える)に蚊帳を吊って寝てね。揺れがひどくてとても怖かったね。昔は周りみんな農家ね。実家は米や豆、少し野菜を作っていたかしら。その手伝いをしながら貞元小学校に通いました。教室には男12人女24人。勉強は何が得意、ということもなかったけれど、「唱歌」(今の音楽)や「読本」(今の国語。音読など)の授業が好きだったね。兄人妹三人がいたけれど、二女は元気で百歳で東京の

青少年相談員は千葉県独自の制度で、昭和38(1963)年に開設されました。青少年を対象としたスポーツの指導、キャンプや自然体験活動などの企画実施を通して子どもと大人の橋渡しとなること、地域の青少年にとって身近な相談役となることを期待されています。 4月12日(土)、君津市では第22期102名に委嘱状が交付され、活動を開始しました。 周南中学校区選出の11名をご紹介します。

第22期周南地区青少年相談員

宮下・小山野	黒野陽介・齊藤文晃
日鉄テックスエンジ	林下友久
公民館推薦	溝口清二
常代・浜子	永井正邦・松田真衣子・荒井一寛
濱田重工社宅	倉田幹也
六手	能城匡宏
血引・尾車・草牛・馬登	栗原安之
大山野・作木・山高原	和田雅記

◆地区役員からのメッセージ 和田会長 青少年相談員の任期は1期3年と少し長めですが、その中で工夫しながら子どもたちにいるいろいろな経験を提供できたらな、と思っています。子どもたち自身も、青少年相談員も、お互いに安全に気を配りながら楽しんで活動していきたいと思っています。子どもたち、ぜひたくさん参加してね。 齊藤副会長 もう6期目だよ(笑)。バスハイクにキャンプ、かるた大会…参加すれば楽しいことが待ってるよ！いろいろな企画するから一緒に楽しもう！でもふざけたりしてたら本当に怒るから(笑) 溝口副会長 初めてで副会長というのは不安もありますが、子どもたちと一緒に楽しんで活動できたらいいな、と思っています。よろしくお願いたします。

長年の貢献に光 令和6年度の叙勲で川上清氏が瑞宝双光章(大山野・広報きみつ12月号掲載・教育功労)、故 田中基之氏が紺綬褒章(同・2月号掲載・公益のための私財寄付)を受章されました。 ご遺族の田中愛子さんは、

六本木に住んでるよ。実家を継いでくれた三女は96才で畑仕事をして良い野菜をつくっていますよ。 招集で館山の砲術学校にいた4つ上の兄が派兵されると聞いた時には見送りに行ったね。外地から時々手紙なんかも来ていたと思う。でも32才でトラックで戦死してしまつた。私はこちでずつと牛を使つて田んぼをやつていた。田の畔の草を刈つて牛の餌にしたりしてね。でも特にお米は供出・供出でね。でも自分たちで作つていたのでまだ食べられた方だと思つたよ。 周南に住んでのエピソード 小学校卒業後は家業を手伝つていたんだけど、今の家の向かいの「高塚」という屋号の家が広く田畑を作つていて、そこに働きに来るようになったの。そこで、同じ地区出身で先に住み込みで働いていた夫と昭和12年頃身一つで結婚、この場所が空いたから住むようになったの。子どもは3人、まだ電気も水道もなく、灯りはランプ、水は裏の井戸はあまり出なくて下の湧水を汲みに行つて使つたよ。地域でも婦人会の集まりやいろいろやつたね。昔はお祭りのお囃子がこまでお祭りに来ていた。 大正から令和を過ごしてこられた菊江さん。週に1度は近居の娘さんたちが話に來たり、散髪してくれたりするそうです。お子さん、お嫁さん、お孫さん、ひ孫さんまでたくさんのご家族に囲まれて、素敵な笑顔です。 次の方も元気に迎えられるのですね」との質問には「頑張りまーす!!」と元気に答えてくださいました。

回つて来ていたから賑やかで楽しんだね。 ここは駒田屋さん(食堂。豆腐なども買えた)や雑貨屋さんも近くにあったし、大貫から海産物の行商なんかもあつてとても便利だったね。 今ほど生活ですか 昔は朝5時位に起きて仕事をしたけれど、今は8時頃に起きて朝食後に新聞を読みます。館報ひろばも読んでいますよ。あとはTVの番笑。昼食後は家の周りの散歩なんかもしますよ。麺類はほぼ食べないという以外は何でも食べます。一緒に住んでいる中学生のひ孫の事はもう特に心配でね！私は体が丈夫みたいで、コロナに二回罹つたけど、薬もなにもいらず丈夫に過ごしています。 まあ、昔の事は忘れませんでした！今が幸せですね。 大正から令和を過ごしてこられた菊江さん。週に1度は近居の娘さんたちが話に來たり、散髪してくれたりするそうです。お子さん、お嫁さん、お孫さん、ひ孫さんまでたくさんのご家族に囲まれて、素敵な笑顔です。 次の方も元気に迎えられるのですね」との質問には「頑張りまーす!!」と元気に答えてくださいました。

# 災害時孤立可能性集落に 物品配付

3月7日(金)、周南公民館講堂にて、災害時に孤立する可能性のある集落に対し、「孤立集落対策物品」の受け渡しが行われました。これは、市の危機管理課が県の補助金を活用して支給したものです。



軽トラに積み込んで各集落へ運搬



災害時の簡易トイレの使用方法などを研修

- 支給物品**
- ・トイレ設置用テント(赤・青)
  - ・組立式簡易トイレ(洋式)
  - ・簡易トイレ処理セット
  - ・4面式ソーラーパネル
  - ・ポータブル電源

周南地区で支給対象となったのは宮下・大山野・小山野・浜子・馬登・尾車・草牛・六手・山高原です。支給された物品は基本的に災害時に孤立する可能性のある農業集落内にある集会所等で保管・管理されます。いざという時に備え、ハザードマップ等の確認をお願いします。

## 子育てまっ最中ママ頑張ってます

No.43

今回は、六手在住の榎本香(かほ)さんに伺いました。  
Q: 家族構成を教えてください。

夫、長男(13才)、長女(10才)、次男(1才)、義父母の7人家族です。  
Q: 育児の役割分担は特になく、家族の力を借りて皆で育児をしています。



Q: 出産時や子育て中のエピソードを教えてください。  
次男は40才を過ぎての出産でした。自身の体の心配や赤ちゃんの体の心配が最後まで尽きませんでした。無事に生まれてからは10年ぶりの1からの子育てですが、父

## 浜子・建暦寺で 千体仏の調査を実施

3月26日(水)、建暦寺(浜子)で千体仏の調査が行われました。



壁面に飾られた千体仏を確認

調査に訪れたのは安藤貴紀氏(僧侶「但唱」研究家)、石川丈夫氏(元鴨川市郷土資料館長)、小高春雄氏(君津市文化財審議会委員)の3名。お寺の役員の前城清さん立会いのもと、堂内に収められた千体仏や棟札を写真に収めていました。安藤氏は、「但唱は江戸時代初期に活躍した『木食作仏聖』です。実は僧侶自身が仏像を造ること自体珍しいことなんです。特に但唱は素材でも木仏と石仏の両方を造っているうえ、極小サイズから大仏級の五智如来像まで、生涯二万體以上を彫ったと伝わっています。現存の建暦寺千体仏に但唱作の仏像が混じっているかどうかはまだ検討が必要ですが、建暦寺には『千体仏』が三千体彫つて数ヶ寺に分散して収められた」といった制作年代などがわかる貴重な記録もあり興味深いです。千体仏自体は高さ15cm程の小さな木彫像です。病氣平癒の祈



写真右奥より前城さん、安藤氏、小高氏、石川氏

## シリーズけもの⑤

～“縄文時代”の周南人とけもの～

獣の被害がたびたび報道されますが、周南地区でも様々な動物が出没します。獣についていろいろな角度から見てみるシリーズです。

### ①縄文人とケモノ

最近では「ケモノ」と聞くと、畑や森林被害など「害獣」として話題に出ることが多いですが、1万年以上前の縄文時代の人とケモノは、特別な関係にありました。ケモノは、狩猟・漁労・採集を中心とした食生活の中で、食料として非常に大切でした。また、骨を釣り針やアクセサリーなどにしていたことも分かっています。



鹿島台遺跡(六手)の発掘



石器 鏃

六手の鹿島台遺跡から石器を作る工房跡が発掘されています。そこでは、狩りに使う弓矢につける鏃を作っていました。周南の人々もケモノを狩ってお肉として食べていたことでしょう。

### ③縄文土器とケモノ

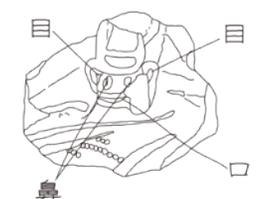
発掘調査をしていると、ヘビやイノシシ、シカなどをモチーフにした土器が見つかることがあります。鹿島台遺跡からも猪の顔を模した土器の把手(縄文土器の縁の部分)が見つかっています。なぜ作ったのかは、現代の私たちには想像することしかできませんが、



※イメージです



獣面把手



目 鼻

鍋として使うには、使いにくいことはわかります。縄文人は、何を考え、何を思っていたのでしょうか? 縄文時代の犬は、狩猟犬として役割が大きかったと考えられます。狩猟などをしていた縄文人にとって犬は、大切なパートナーであったこととでしょう。そのため、役目を終えた犬を丁寧に埋葬していたのだと思います。

### ④縄文人と特別なケモノ

縄文時代の遺跡から、埋葬された犬の骨が見つかることがあります。人骨と一緒に見つかることもあり、縄文性なので昼間はハンモックの中で寝ている事が多いですが、目をつぶって寝ている姿もかわいく癒されます。身体能力が高く、走り回ったりジャンプもします。特技は「おまわり」で、おやつを見るとその場でくっつくことと回りして、ちよ

酸性土壌の日本では、骨は残りにくい!しかし、貝がたくさんある貝塚では、土壌の性質が変わるため、骨が残り、色んなことがわかります!



君津市教育委員会生涯学習文化課 大竹真実子 文化財主事

## 我が家のペット自慢

トトロのモデル 鈴木 由里(常代)

我が家には4歳になったチンチラのチャイがいます。2021年9月に運命的に出会い、家族として迎えました。出身はオランダで、とても遠い所からやって来た、頑張り屋さんの女の子です。 そんなチャイのふわふわでモフモフな毛並みに、家族みんなが虜になっています。夜



## 出会えたラッキー!? キンラン(金蘭)が開花

キンランは、4~6月にかけて開花します。日本全国でよくみられましたが、1997年に絶滅危惧II類(環境省レッドリスト)に掲載され、千葉県では「一般保護生物」として、生育環境の保護が必要とされます。



【撮影場所: 大山野地先】

「樫の木の下に育ちやすいが、植え替えると数年で絶えてしまう」雨が降ると花が閉じる」といった特徴があります。

願などで家に持ち帰って仏壇などに飾り、後日お礼参りに来る、といった風習があるところもあるようです。もしご自宅や近所のお寺などに心当たりのお像があったら情報が必要です」と話していました。

能城さんは、「もともと千体仏が収められていたお堂は令和元年台風の影響が酷く、千体仏も処分するしかない状態のものも多くありました。なにか新しい事がわかる端になれば良いと思います」と話してくれました。

### 令和7年度 各機関・団体役員紹介

地域の様々な機関・団体の役員の方をご紹介します。  
(5月16日現在・敬称略)

#### 【周南地区自治会連合会】

会長 田浦定一(山高原)  
副会長 田中教雄(大山野)

栗原清志(宮下)高橋俊宏(小山野)

鈴木幸男(常代)筒井孝和(濱田重工)

佐々木秋人(テラス)宮崎信幸(浜子)

榎本良雄(六手)石川真(血引)

林典夫(尾車)中村和広(草牛)

齊藤佳久(馬登)高野章(作木)

【周南小学校】

校長 今西孝洋

教頭 山名真貴

【小学校PTA役員】

会長 安藤龍治

副会長 高橋 健・関 歩

奥澤薫平・陳 明霞・加藤 翔

【周南中学校】

校長 田端晃人

教頭 松岡 実

【中学校PTA役員】

会長 田代太郎

【宮下ひろく保育園】

施設長 羽澤佑太

【青少年相談員】

※詳細は2面で特集!

会長 和田雅記

副会長 齊藤文晃・溝口清二

【地域活動委員】

委員長 竹内憲久(草牛)

副委員長 能成正夫(浜子)

齊藤優次(宮下)鶴岡義博(小山野)

常代四・浜子 田邊一成  
常代・常代五・六 林 正幸  
六手・血引 山口浩一  
尾車・馬登・草牛 竹内憲久  
大山野・作木山高原 川上 清

【君津東地区主任児童委員】

鷹野明美

【周南剣道スポーツ少年団】

団長 作山浩隆

保護者会長 齊藤絵里

【周南ビーバース】

代表 木下修男

父母会長 河埜紋乃

【君津地区公民館運営審議会】

(君津中央地区) 伊藤 亮

増田久美子・高橋勝巳

(八重原地区) 渡邊綾美

岩鼻方美・鈴木政一

(周西地区) 馬場ミヨ

古屋有佳・水口純子

(周南地区)委員 田浦定一

高橋新司・山口幸代

【ひろば】編集委員

委員長 小川善彦(草牛)

鷹野明美(常代)

能城雪子(六手)

久保根静加(常代)

【再】 林 恵子(尾車)

情報提供や取材・原稿への

協力よろしく願います。

※4コマまんがを描いてみたい

方を募集します!編集委

員も募集中ですので、興

味のある方は公民館まで。

### 今年度の主な公民館事業

※5月末時点の予定です。

ふるさと運動

第52回周南地区文化祭

(10/25~26)

館報「ひろば」編集発行

事業(6・9・12・3月

予定)

周南ふれあいスポーツ大

会(11/9日)

親子体験活動事業(年間

2回程度・小学生と家族

子ども体験活動事業(工

作等、7月、小学生)

青少年キャンプ(事前研

修7/19(土)・キャンプ8/

2~3、小学5~6年生)

青少年バスハイク(2/

8日、小学4~6年生)

周南地区20歳のつどい

農業講座(5~12月、専

兼業農家・地域住民)

家庭教育関連事業(子育

世代、年4回程度)

周南寿学級(5月~年10

回、65歳以上)

セカンドライフ支援事業

あったかふれあいサロン

災害・防災関連事業

認知症カフェ「ほっとサ

ロン」(毎月第3金曜日)

公民館利用者研修会(①

5/24(土)、②1月予定)



### 令和6年度君津地区公民館運営審議会 会答申行う

君津地区公民館運営審議会(委員12名:君津中央・八重原・周西・周南の各公民館より3名ずつ選出)は、館長の諮問機関として年4回公民館の活動について審議を行っています。

令和6年5月の第1回審

議会で「君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について」諮問を受け、令和7年3月の第4回審議会で答申書が提出されました。

この答申書に沿って今後の公民館の取り組みを行っていきます。

答申書はこちらからご覧いただけます。



### 『読んでみませんか』

『明治の楽器製造者物語 西川虎吉 松本新吉』 松本雄一郎著

明治・大正時代に3大楽器メーカーとして名を轟かせた「西川」「山葉(現在のヤマハ)」「松本」。このうち「西川」と「松本」2者が、常代の人であることは驚きではないだろうか。

本書は、この2つのメーカーの創業者西川虎吉と松本新吉の2人について(特に後者)、新聞記事や広告等の記録を元に、当時の詳細を明らかにすることを試みた力作である。

松本新吉は、先駆者であった西川の楽器工場で修

行し、その後単身渡米してピアノ製造の技術を学び、音色にこだわったピアノを完成させた。渡米と一言で言っても、日本人蔑視の強い当時に、大した伝手もお金もない若者が製造技術を学ぶのがいかに至難であったか;読み解かれた渡米日誌の内容には心を打たれる。

松本新吉については他に『松本新吉伝』(大場南北著)があり、新吉の波乱万丈の人生(松本ピアノ工場は、実に4度も全焼している)を物語として知るにはこちらも面白い。ただし、中には内輪の世間話で事実誤認のあるエピソードも含まれるようなので要注意だ。

郷土の偉人、時代の先駆者の生きざまに思いをはせてはいかがだろうか。

### すなみ短歌同好会(六月份)

満開の桜の下での今年も逢えしよるこび幹の静謐

亡き夫の愛でし碗、皿の塵拭いせぬ艶手に受けて見つ(過ぎし三十余年、命日にて)

横寝する背のすきまに老猫のするり潜りて花冷えの真夜

挑 戦

ハッケよい 残ったのこった

米寿を越えて後がない土俵際だが

人生まだ 捨てたものではない

今迄出来たことが 出来なくても

もどかしくても 時間をかけて

やり遂げた時の 達成感が励みになって

やればやれたではないかと元気になる

弱音を吐かずに 愚痴を言わずに

足腰に力を入れて踏ん張って行けば

楽しい事が見つかる きつと

宮川 喜美子

館報ひろばでは、「ぶんげいらん」への作品(短歌・俳句・川柳など)を募集しています。公民館窓口へ提出するか、ハガキ等に氏名・住所・電話を記載の上、投函ください。(紙幅により掲載できない場合があります。次号は9月18日発行予定、締め切りは8月1日です。)

### 公民館&図書分室を どうぞご利用ください

施設予約や詳しい利用方法の問合せは、公民館まで。分室では、ひまわり号や中央図書館の本の返却・リクエストもできます。

Tel 0439-52-4915  
Eメール sunami-k@city.kimitsu.lg.jp  
HP https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/48/



### 編集後記

平成半ば、3人の子育て中編集委員でした。周南の歴史や文化を知る機会であり、人との関わりの一つとなった館報。今の館長と出会った頃でもありました。そして、今年度再度編集委員をさせて頂くことになりました。108歳になる岩崎さんとお話できた事、私自身とても刺激になりました。

戦後80年?なんて、今のその明るい笑顔を見ただけでエネルギーを貰って来ました。「これだ」と思いました。この感じ、ご家族の支えも沢山あると思います。が、明るい笑顔が語られるこの気持ちを伝えようと。温かくて優しく、それでいて力強い、地域で生きる人々をワークワクするエネルギーを!どうぞよろしく

お願いします。(林)